



日本センチュリー交響楽団
豊中市立文化芸術センターこけら落としコンサート出演決定。
指揮：飯森範親 ソリストには豊中出身の神尾真由子登場



<豊中市立文化芸術センター大ホールイメージ>

日本センチュリー交響楽団は新しい取組みとして 2016 年度より大阪府豊中市市民ホールの指定管理事業に取り組んでいます。オーケストラがホール指定管理事業へ取り組むのは全国的にも珍しい事例です。豊中市とは 2012 年から「音楽あふれるまちの推進に関する協定」を締結しており、オーケストラの持ち味を活かした企画で豊中の文化芸術の発展にこれまで以上に尽力してまいります。

今年度、豊中市市民ホールに新しくオープンする文化芸術センターのこけら落としコンサートに日本センチュリー交響楽団の出演が決定をいたしました。指揮には当楽団の首席指揮者である飯森範親、ソリストには地元豊中出身のヴァイオリニスト神尾真由子を迎えて演奏します。

■公演概要

【日程】2016 年 10 月 10 日（祝）

【会場】豊中市立文化芸術センター大ホール

【予定演目】

ショスタコーヴィチ：祝典序曲 イ長調 作品 96

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲二長調 作品 35

ドヴォルザーク：交響曲第 9 番ホ短調 作品 95 「新世界より」

【出演】

指揮：飯森範親

ヴァイオリン：神尾真由子

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

【主催】 豊中市

※開演時間、チケット料金、発売スケジュール等は決定次第発表します。

なお、文化芸術センターグランドオープンは 2017 年 1 月の予定です

■出演者プロフィール



©山岸伸

<飯森範親>

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、1994 年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。1996 年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。2003 年、NHK 交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第 1 番でデビューを飾る。2006 年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。2001 年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督（GMD）に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。

現在、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団音楽監督、東京交響楽団正指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。オフィシャル・ホームページ www.iimori-norichika.com



©Shion Isaka

<神尾真由子>

4歳よりヴァイオリンをはじめる。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。これまで、国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管、ロシア・ナショナル・フィル、BBC響、BBCフィル、ブダペスト祝祭管、バイエルン国立歌劇場管、ミュンヘン・フィル、南西ドイツ放送響、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、ラハティ響などと共演。指揮者では、C.デュトワ、M.ロストロポーヴィチ、E.インバル、V.スピヴァコフ、V.アシュケナージ、J.ピエロフラーヴェク、I.フィッシャー、Z.メータ、F.X.ロト、L.モルロー、T.ソヒエフ、O.カムなどと共演している。サン・モリッツ、コルマール、ヴェルビエなどの著名フェスティバルにも出演。また、ソリストとして、ニューヨーク、ワシントン、サンクトペテルブルク、モスクワ、フランクフルト、ミラノなどでリサイタルを行っている。レコーディングではRCA Red Sealレーベルより最新CD「VIOLIN ENCORES」を含む5枚をリリース。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞している。

<日本センチュリー交響楽団>



©S.yamamoto

日本センチュリー交響楽団は1989年12月に大阪府管弦楽団として活動を開始、翌年には府民から楽団名称を募集し「大阪センチュリー交響楽団」に決定。2011年には大阪府から独立し公益財団法人日本センチュリー交響楽団が発足。創立25周年を迎えた2014年度には首席指揮者に飯森範親を、首席客演指揮者にアラン・ブリバエフを迎え新たなスタートを切った。2015年度はアーティスト・イン・レジデンスに小山実稚恵を迎え、シンフォニー定期演奏会の金曜・土曜2回連続公演や、ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」は2016年度に2年目を迎える。

プレス発表資料

2016/04/15

また今年度から「エンジョイ・センチュリーシリーズ」と題し、映画音楽やゲームなどジャンルを超えた新たな形態のコンサートを実施。豊中市市民ホールの指定管理事業もスタートし、豊中市の文化芸術の発展に尽力する。

オフィシャル・ホームページ <http://www.century-orchestra.jp/>

※豊中市市民ホール指定管理事業への取り組み

指定管理者としての期間は2016年度より2020年度までの5年間。株式会社JTBコミュニケーションデザイン、日本管財株式会社、株式会社大阪共立、当楽団の4社の共同企業体での取り組みとなります。演奏事業のみならず、企画・制作、アートマネジメントの分野でも積極的に取り組んでまいります。

なお、指定管理業務は、現アクア文化ホール、ローズ文化ホールも含めます。

■豊中市立文化芸術センター概要



住所：大阪府豊中市曾根東町3丁目7-2

アクセス：阪急宝塚線曾根駅 徒歩3分

オープン：平成29年（2017年）1月グランドオープン予定

<施設概要>

地上3階、地下1階 延床面積：約13,000㎡

※諸事情により施設の仕様に変更が生じる可能性があります。

○大ホール 1,344席

（1階928席、2階416席）

○小ホール 202席

○諸室

展示室 約325㎡ 多目的室 約220㎡

 Japan Century
Symphony Orchestra

プレス発表資料

2016/04/15

練習室 3 室、ミーティングルーム 3 室、和室 1 室、スタジオ

※開館後、現アクア文化ホールは文化芸術センター中ホールとなります。

詳しくは豊中市ホームページにて

http://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/bunka/center_keikaku/index.html

※本件リリースに関するお問い合わせは
公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
事務局 田中幸成
TEL: 06-6868-3030
Mail: tanakak@century-orchestra.jp